



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 332

September 2018

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館 19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州副首相来県

兵庫県政150周年を記念して9月6日に開催された兵庫県主催の「姉妹・友好州省サミット」に参加のため、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州のモニカ・ハイノルト Monika Heinold 副首相兼財務大臣とオリヴァー・ラーベ Oliver Rabe 財務大臣室長が、9月4日に来県されました。

副首相は大型台風21号が接近・上陸した日の朝に関西空港に到着され、滞在先のポートピアホテルで暴風雨の午後を過ごされ、高層階のお部屋が暴風で揺れ不安を感じられたそうです。夜には滞在先ホテルの日本料理店で柘田会長夫妻、尾辺副会長、トゥルンマー常務理事による歓迎の夕食会を共にしました。

翌5日の午前には柘田会長夫妻とトゥルンマー常務理事が同行して、法人会員シスメックス株式会社の「ソリューションセンター」を訪問し、同社の尾辺取締役常務執行役員のご案内ご説明を受けられました。台風一過の好天の下での神戸郊外の西神への往復路で前日のお疲れも多少とられたご様子でした。東遊園地の「震災モニュメント」「日独交流150周年に植樹された菩提樹」を見学後、神戸市役所の展望室から神戸市の全貌を見ていただきました。昼食後三宮センター街を散策した後、「人と防災未来センター」を見学しました。副センター長より同センターの災害ミュージアムとしての諸機能、防災研究の実際と発信、センターの概要について説明を受けられた後、市民ボランティアの案内で館内の諸展示を興味深くご覧になっていらっしゃいました。偶然にもその深夜に起きた北海道地震の報道を目にされて、その夜のレセプションでお会いした時にはその被害状況を心配されていました。

サミット後に主催者で用意された京都などへのツアーに参加され、9日に関西空港から帰国の予定でしたが、関西空港が閉鎖されたために急遽8日に東京から帰国されました。

ハイノルト副首相は、弊協会が昨年9月にシュレスヴィヒ・ホルシュタイン日独協会との友好協定を締結してから初めてお迎えした同州からのご訪問であり、今後の同州との交流、特に同州の最新の情報の提供などについて協議を致しました。 (柘田義一)

ドイツ文化サロン

「女性が支える国際交流」

第16回 『ドイツマイスター取得の道のり』 ～妻として、母として、一人の女性として～』

3月より休会していました「ドイツ文化サロン」を再開します。

今回は、ドイツの菓子マイスターをお持ちで現在御影のセセッション(にしむらコーヒーサービス)にて販売・管理マネージャーとしてご勤務していらっしゃるラッハマン早希子さんにドイツで子育てをしながら菓子マイスター資格を取得されたお話をしていただきます。

今回は土曜日午後の開催としますので、会員のみならず特にドイツでの菓子作り、菓子マイスター資格に興味をお持ちの方々のご来聴をお待ちしています。

・講師：ラッハマン 早希子さん（セセッション勤務）

1977年生まれ、東京、横浜出身。横浜の私立の高等学校卒業後、東京家政大学短期大学部栄養科にて栄養学を学び、栄養士の資格を取得。ル・コルドン・ブルー東京校菓子ディプロム科で念願のお菓子の勉強をし、ディプロムを取得。横浜元町アメリカンハウス”The Best cheesecakes”で2年間働いたあとアメリカ留学。英語を勉強しながら、アメリカのお菓子、デコレーションを勉強。日本に帰国し、主人と東京で知り合い2004年渡独。デュッセルドルフの日本人のカフェでパティシエとして勤務。2006年9月結婚。2008年1月長女誕生。2009年10月 Handwerkskammer Düsseldorf でマイスター試験3, 4級を講習。

2010年1月修了。2010年8月長男誕生。2011年9月 Akademie der Konditoren Innung Berlin でマイスター試験1, 2を講習。2011年12月修了。ドイツ菓子マイスター資格を取得。2013年 Erlangen でお菓子教室を開催。2015年パーティー、ケイタリングサービス会社のデザート部門を担当。2017年8月神戸に家族で移住。

・日時：2018年10月13日(土)14:00～16:00（開場 13:45）

・会場：神戸日独協会会議室

・会費：会員および家族 1300円、非会員 1500円（ケーキと飲物代）

当日受付にて支払ください。

・申込：10月10日(水)までに事務室へメール・電話・ファックスでお申し込みください。

Tel/Fax 078-230-8150 E-Mail : info@jdg-kobe.org

☆今回の会場は、協会会議室です。ケーキを取り寄せます。

「神戸日独協会会報についてのアンケート」結果のご報告

今年5月に実施したアンケートについて、大変遅くなりましたが結果の集約ができましたので、ご報告します。

アンケート実施対象者205名に対し、回答いただいた方が38名と、いささか残念な結果ではありますが、回答いただいた方々からは大変貴重なご意見、ご提言をいただきました。今後の会報発行や協会運営に生かしていきたいと思っております。ありがとうございました。

各項目の集計数字は以下の通りです。

- 1、会報は郵送されたものを読んでいる： 30名
 ホームページEメールで読んでいる： 8名
- 2、今後も会報の郵送を希望する： 16名
 今後はホームページEメールで読むので郵送不要： 22名
- 3、会報は全ページ読む： 30名
 興味ある記事だけ読んでいる： 8名
- 4、会報の発行回数は、
 毎月発行で年12回： 9名
 2か月ごと年6回： 12名（内奇数月 7名、偶数月 3名、その他 2名）
 3か月ごと年4回： 9名
 4か月ごと年3回： 4名（6か月ごとと重複回答1名）
 6か月ごと年2回： 3名
 年1回： 1名
 可能な回数で： 1名

以上のアンケート結果から、現在会報を郵送している方で、今後ホームページ・Eメールで読むと回答のあった方は22名でした。この内従前からホームページ・Eメールで会報を読んでいた方が10名いますので、差し引き、12名分の会報郵送が減ることになります。一方で、今後も会報の郵送を希望した方が16名で、この内3名の方は、従前はEメールで会報を読んでいたので会報郵送が3名増となり増減を差し引きしますと、9名分の会報郵送が減ります。12名の方の郵送からメール配信への切り替えと、3名の方の郵送への切り替えは準備出来次第行います。

また、会報の発行回数については、年6回が最多意見となりましたので、今後、ホームページとの記事や役割での棲み分けをしながら、発行月を偶数月とするか、奇数月とするかも合わせて検討します。現在、講座の募集要項などを会報に同封で郵送していますので、この点なども加味して発行月を決定します。

このアンケート結果を受けてすでに実行委員会で会報発行について協議をしています。更に理事会での協議を経て、発行回数、発行月および変更時期、さらに会報発行の運営方法などが決まりましたら会報およびホームページでお知らせいたします。

ドイツ語談話室

第177回ドイツ語談話室

日時：2018年8月18日(土) 14-16時

場所：神戸日独協会会議室

テーマ：日本人のドイツに対する愛着

今回の司会は原田耕作氏が担当し、明治以来ドイツは多くの面で日本のお手本となった事に言及した。特に医学・法学・近代工学等で多くをドイツに学んだことから、ドイツやドイツ人の思考方法に愛着を持つ日本人が増えた。また、ドイツ人と日本人の間に多くの共通点がある事も日本人のドイツに対する愛着を増している。例えば、秩序を重んじる事、勤勉である事、長期的思考、高い技術レベル、などがある。次に参加者から出た意見の一部を紹介する。

—ドイツに対して、愛着ではないが、敬意を抱いている。ドイツ語をマスターするのにずいぶん苦労をしたが、勤務上ドイツに長く住んでいたのもドイツの良さをよく感じた。

—仕事の関係で長年ドイツの車を扱ってきたが、ドイツ人とドイツの自動車には愛着と尊敬の念を抱いている。50年前の日本には150万台の車があったが、今は7000万台で、ドイツ車も増えた。

—ドイツで親しい友人となるには、他のヨーロッパの国々に較べ、多くの時間が必要だが、深いお付き合いができる。ドイツ人は比較的時間を守るし勤勉である所がよい。

—この談話室の仲間を初め、日本人はとてもフレンドリーだ。また多くの日本人が、ドイツとドイツ語に関心を持っている事も嬉しい。日本の温泉も大好きだ。日本人の、相手を敬う態度や、他人の為に良い行いをする事は、自分に返ってくることになる、と言う考えに共鳴する。

—各地にあるテーマパークを見てみると、ドイツの事物をテーマとしている所が一番多い。以前はドイツをテーマにした所が7か所あった。全体にテーマパークが激減した今も4か所はドイツがテーマであり、ドイツ好きの日本人が多い事を示している。

—ドイツ語に大変興味と愛着を感じている。ドイツ語の文法構成は難しいが魅力がある。また、ドイツ語の持つ響きが心地よく、さらに魅力と興味を感じさせる。

—ドイツのクラシック音楽に愛着を感じている。特に3Bである、バッハ、ベートーヴェン、ブラームスは素晴らしい。ベートーヴェンが、耳が聞こえない障害を乗り越えて、多くの素晴らしい作品を完成させた話は、日本人を感動させる。

—ドイツへの愛着は、ドイツ文学の本にある。フランツ・カフカ、トーマス・マン、ヘルマン・ヘッセほかの作品をよく読んで、ドイツとドイツ語に興味と愛着を感じるようになった。

—ドイツ語を学びたかったが、モスクワの大学で3年間ドイツ哲学を学んだ。ロシアでドイツ哲学を研究している方は皆ドイツ語が堪能だった。ドイツ哲学の思考方法が綿密である点に敬意を抱く。

今後のドイツ語談話室の予定

第178回 2018年 9月15日(土) 14-16時 テーマ：占星術(ホロスコープ)

第179回 2018年10月20日(土) 14-16時 テーマ：秋祭り

Deutsche Gesprächsrunde

Protokoll der 177. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag 18. August 2018, 14 bis 16 Uhr

Thema: Die Liebe der Japaner zu Deutschland

Dieses Mal hatte Herr Kosaku Harada die Gesprächsleitung und erwähnte, dass nach der Meiji-Zeit Deutschland auf vielen Gebieten für Japan ein Vorbild war, insbesondere in der Medizin, in der Gesetzgebung und in der Industrie. Daher rührt es, dass sich viele Menschen in Japan Deutschland und deutscher Denkart zugetan fühlten. Es existieren auch einige Ähnlichkeiten zwischen Japan und Deutschland, die Gründe für diese Zuneigung sein könnten, z.B. die Liebe zu Ordnung und Fleiß, das Niveau der Technologie, usw..

Bei der Gesprächsrunde kam es unter anderem zu folgenden Wortmeldungen:

-Ein Teilnehmer schätzt Deutschland sehr. Anfangs hatte er Schwierigkeiten, Deutsch zu lernen, aber er wohnte aus beruflichen Gründen eine ziemlich lange Zeit in Deutschland und erlebte dort viele gute Seiten des Landes.

-Ein Teilnehmer war lange Zeit im Autohandel mit deutschen Autos beschäftigt, er liebt und schätzt deutsche Autos. Vor 50 Jahren gab es nur 1.5 Millionen Autos in Japan, heute sind es 70 Millionen. Darunter auch viele aus Deutschland. Deutsche Autos haben sehr zugenommen.

-Eine Teilnehmerin wohnte lange in Deutschland und erlebte, dass es im Vergleich mit anderen europäischen Ländern ziemlich lange dauert, mit Menschen in Deutschland Freundschaften zu schließen, dann entstehen aber sehr enge Freundschaften. Sie findet es auch gut, dass die Deutschen im Allgemeinen pünktlich und fleißig sind.

-Eine deutsche Teilnehmerin findet, dass man in Japan sehr freundlich ist. Es freut sie sehr, dass viele Japaner an Deutschland und der deutschen Sprache Interesse finden. Sie hat auch japanische Thermalbäder, „Onsen“, sehr gern. Auch die Haltung, die Anderen zu ehren, findet sie schön, und schätzt die Denkart in Japan, erhaltene gute Taten im Gegenzug auch dem Anderen zu erweisen.

-Ein Teilnehmer erwähnte, dass unter den vielen Themaparks in Japan, Deutschland das populärste „Thema“ war. Bei sieben dieser Parks ging es um Deutschland. Heute sind es nur mehr vier, dies zeugt aber noch immer vom großen Interesse, dass man in Japan Deutschland entgegenbringt.

-Ein Teilnehmer sprach von seiner großen Liebe zur deutschen Sprache, obwohl diese sehr schwer zu erlernen ist. Ihm gefällt der Klang der Sprache, den er als sehr angenehm empfindet.

-Eine Teilnehmerin hat deutsche klassische Musik sehr gern, vor allem Bach, Beethoven und Brahms. Die Tatsache, dass Beethoven, trotz seiner schweren

Ohrenkrankheit so viel wunderbare Musik komponiert hat, begeistert viele Japanerinnen und Japaner.

-Eine Teilnehmerin fand ihre Liebe zu Deutschland durch die Literatur, vor allem durch die wiederholte Lektüre der Werke von Franz Kafka, Thomas Mann und Hermann Hesse.

-Ein anderer Teilnehmer wollte früher gerne Deutsch lernen. Er studierte drei Jahre lange deutsche Philosophie in Moskau. Die russischen Forscher der deutschen Philosophie beherrschten die deutsche Sprache.

Er bewundert die strenge Genauigkeit der deutschen Philosophie.

Nächste Treffen:

Samstag 15. September, 2018, 14 bis 16 Uhr, Thema: Astrologie (Horoskope)

Samstag 20. Oktober, 2018, 14 bis 16 Uhr, Thema: Das Erntedankfest

クリスマス祝賀会の企画募集

今年のクリスマス祝賀会は、12月9日(日)17時より神戸倶楽部にて開催します。
クリスマス祝賀会を会員一同で祝賀する企画を募集します。次回の実行委員会にて企画を協議しますので、奮ってご参加ください。
次回の実行委員会は9月16日(日)15時より協会会議室にて開催します。

事務室からのお知らせ

会報発送ボランティア募集

会報の発送を手伝ってくださる方を募集しております。次回の発送予定日は10月11日(木)です。お手伝いいただける方は、事前に事務室へご連絡(TEL/FAX 078-230-8150)の上、12時半頃事務室にお越しください。

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込×切 など
9月15日(土) 14:00~	第178回 ドイツ語談話室	神戸日独協会 会議室	当日参加可
9月16日(日) 15:00~	実行委員会	神戸日独協会 会議室	当日参加可
10月13日(土) 14:00~	第16回 ドイツ文化サロン	神戸日独協会 会議室	10月10日(水) まで